



会長	武川毅
幹事	千葉正宏
会報	猪股育夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2822回例会 2022. 6. 9 No.37

本日の出席率

・本日の出席率 100%

及川昭宏会員 杉田広仁会員 佐藤哲弥会員
以上、ありがとうございます。

ニコニコボックス

- ・武川毅会長 クラブ協議会よろしくお祈りします。
- ・千葉正宏幹事 クラブ協議会、ご協力よろしくお祈りします。
- ・佐々木崇会員 クラブ協議会、御苦勞様です。
- ・佐藤幸一会員 各委員会の委員長、今年度大変ご苦勞様でした。感謝申し上げます。
- ・江川元徳会員 世界平和のため祈ります。
- ・八谷郁夫会員 クラブ協議会、今期から来期に向かって地域のニーズを如何につかむか、学び合いましょう。
- ・千葉吉男会員 クラブ協議会ご苦勞様です。
- ・菅野幸一郎会員 本日、クラブ協議会です。宜しくお願いします。
- ・小野寺伸浩会員 週の頭から、雨・雨・雨です。なかなか半袖になれません。クラブ協議会、ご担当の委員長ご苦勞様です。
- ・岩淵栄市会員 毎日の様に総会で「飲み会」が続いております。どうかお体に充分気を付けて精一杯飲み会を続けて下さい。
- ・二階堂恭子会員 今日はクラブ協議会、活動報告よろしくお祈りします。
- ・伊藤秀雄会員 登米法人会40周年、遠藤光則実行委員長、菅野幸一郎副実行委員長、大変お疲れ様でした。
- ・佐藤敬喜会員以下 クラブ協議会につき。
遠藤光則会員 猪股育夫会員 佐々木源悦会員
菅原慶一会員 熊谷敏明会員 高橋利光会員
布施孝尚会員 山田正会員 富士原裕子会員

会長要件 武川毅会長

「アンガーマネジメント」という言葉があります。その名のとおりアンガー（怒り）をマネジメント（管理）する心理トレーニングです。年齢と共に視力が落ちる、耳が遠くなると、全体的に身体機能がだんだんと落ちてきて、なかなか自分の思うとおりに出来ないで、怒りっぽくなったり気が短くなってきて、トラブルが生じることが多くなっています。聞こえても、いやな話は聞こえないふりをするのもひとつの手です。常に冷静な気持ちで心穏やかに過ごしたいものです。

幹事報告 千葉正宏幹事

- ・本日より2週にわたってクラブ協議会です。各委員長は準備宜しくお願いします。
- ・ガバナー事務所より
2022年規定審議会「クラブと地区に関連する重要な変更」が届く。内容を照査し後程報告します。
- ・2023年ロータリー国際大会（オーストラリア・メルボルン）の案内が届く。開催は、2023年5月27日～5月31日の5日間。
- ・ロータリーカードの加入を理事会で決定。
- ・プロジェクターを新規購入
明るさがだいぶ落ちてきましたので、60周年事業に向けて購入することにしました。
- ・宮城県石巻保健所より
登米地区薬物乱用防止指導員研修会の案内
日時 6月29日(水) 13:30~14:30
場所 登米合同庁舎 5階 501大会議室

各委員会報告

- ・親睦活動委員会（千葉正宏幹事）
バトンタッチ例会のお知らせ
日時 6月30日(木) 18:30開始
場所 割烹若鯨（本館）
会費 5,000円（S-BOXは別途1,000円）
- ・次年度会計（布施孝尚次期委員長）
2022-23年度会費納入について、6月3日付けで会員の皆様にFAXにてお知らせ致しました。早目のお返事をお待ちしております。

クラブ協議会（担当：千葉正宏幹事）その1

・パスト会長会（山田正委員長）
昨年8月5日(木)18:30より、ホテルサンシャイン佐沼においてパスト会長会を開催致しました。武川年度のパスト会長会としての活動計画は、歴代会長との懇親を図ると共に「コロナ禍での委員会行動」と題して、諸先輩方のご助言の下にパスト会長会を開催させていただきました。当日はコロナ禍ということで一時間程度の意見交換・懇親となりました。

武川毅会長には、コロナ禍にあつて、諸先輩から忌憚のない意見とアドバイスをいただきたいというご挨拶をいただき、それに沿って進行させていただきました。定款変更後の組織についてと言うことで、八谷郁夫パストガバナーより、説明とご意見をいただきました。その中で、パスト会長会は、諮問委員会としての機能があつて、国際ロータリーとの整合性が大切である。又、国際ロータリーは3年毎に定款が改訂されるので諮問委員会での確認が大切で、相違があればRIに従うのが大切であるというお話をいただきました。

ガバナー訪問の持ち方について、クラブ単体でやるのか、リモートでやるのか、色々工夫の仕方があるのではないかと意見も出ました。

今年度は、会員数が50名を切って48名となり、課題は会員増強活動へのご意見などということで、様々なご意見を頂戴いたしました。

休憩後、懇親会に入りました。その中の話では、むやみに若い人を入れるよりも、健康な年寄りを入れることも一つの案ではないか、又居心地の良い雰囲気でも多くの人と知り合う機会とするのも重要ではないか、佐沼クラブは他のクラブからしっかりとしたクラブであるという存在価値が認められており、その良さを生かした会員が健康で活動できる楽しいクラブ作りが大切である等、様々な意見が出ました。皆様方、特にパスト会の諸先輩には色々ご意見をいただき、参考にさせていただいた年度であると感じております。

来年度も、パスト会長会を貴重なご意見の場として生かされるようにご祈念申し上げます。

ロータリー情報・雑誌委員会（八谷郁夫委員長）

本年度は、基本的に「ロータリーとは何か」と言うこと、ロータリーとは何かという問いかけに対して答を少しでも出していくことが出来ればという考えで情報提供をやって参りました。この内容として

- ・会員増強（会員身分・職業分類）
結論的に言いますと、職業分類はあまり拘泥する必要はないのではないかと。本人の申請によって出来るという考えです。
- ・会員増強の課題
最終的には入会を勧めないことには会員は入ってこない訳ですから、会員自身が入会を勧めるということ、これを遂行すべきではないかと。

・四つのテスト
日本語に訳する時、2項目のconcernedという英文の言葉が省略されております。これは、あくまでも商売相手を言っているわけですから。それに対して「公平かどうか」ということ。又、4項目のconcernedも省略されております。これも商売相手ということが内在しているということを入れて置いて下さい。ロータリアンであるお陰というメリットをロータリアンは考えなければいけません。それが全く疎外された中ではクラブの拡大は難しいのではないかとこのことを考えております。

・ロータリー奉仕理念の変遷
これについても話させていただきました。その中で決議23-34社会奉仕に関する声明（基本理念）が発表されております。これは、ロータリーの姿を適切に表わしているのではないかとこのことでも話させていただきました。ロータリーは「親睦と相互扶助」を目的として1905年2月23日に誕生しました。これは永久にロータリーの流れに残さなければいけないことです。親睦と相互扶助がクラブ奉仕の基本になることです。しかし、利己的な目的だけで活動をしていたのでは、世間に受け入れられないという問題が発生して、社会奉仕というものが導入されてきました。社会奉仕ばかり夢中になって力を入れるとどうしてもクラブ奉仕の方の行動が少なくなってきた、自分達は何のためにロータリーに入ったのかと言う理由がなくなってきました。奉仕だけという形になってきますから…。そうしたことを中和させるために職業奉仕が導入されました。こういったことを考えてロータリー活動をやらなければならないと思っております。

ロータリーには「超我の奉仕」と「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」の2つのモットーがあります。「最もよく奉仕する人、最も多く報いられる」という言葉が、社会奉仕の定跡な考え方のクラブ奉仕的な考え方と社会奉仕の利他的な考え方を中和する言葉です。ロータリー自身がそういう2面性というか2つの考え方があるということです。奉仕だけではないということ。これを十分に認識しながら会員募集を計っていかないと最終的には衰退していくのではないかと考えております。表面上はあくまでロータリーは「超我の奉仕」的な団体であるというふうには宣伝されております。宣伝だけではないロータリーの発展はないのではないかとこの感じがしております。

こういった方向で今後とも活動を続けていかなければならないと思っております。クラブ奉仕の目的は親睦による会員の融和、四つのテストに則った相互扶助

にあります。

先ず、第1番目にクラブ奉仕でやることは、自分の事業や職業について会員の中に広めてもらうこと。これが第1番の奉仕活動であると思っております。

社会奉仕は、地域のニーズをどの様に捉えるかということによって決まってくると思います。地域のニーズを満たされない中で、国際奉仕、社会に目を向けてもクラブの発展には直接伝わりません。そういった点で地域のニーズを如何に捉えるか学ばなければならないと思っております。

先日の委員長会議の中で、青少年奉仕委員会のところで、活動に関する問題が出てきました。最近、中学校に関しては、土・日の活動はスポーツクラブ等に任せようではないかという案が文部省から出ております。こういったことになった場合に果して子供たちを集めて出来る様な状態を作れるかどうかということも、地域のニーズとして捉えて研究しなければならない事項ではないかと思っております。

職業奉仕に関しては、従業員の質の向上が、一番の職業奉仕ではないかと考えております。そして、「四つのテスト」の実践です。青少年の育成、一般的地域社会奉仕、最後に国際奉仕になるのではないかと。

来年度に向かっても、ロータリーの基本的な考え方を根底に据えた上で、活動をしていかなければならないのではないかと、それに対する情報を極力お伝え出来ればと考えております。

・**会報・クラブ情報委員会**（猪股育夫委員長）

本日、皆様にお届けした会報はNo.36です。昨年度はNo.38まで出しておりましたが、今年度もあと2～3回ということで、昨年度と同じ位の号数の週報をお届けする予定です。

クラブの記録、情報を会員の皆様にお届けし、会では今何をしているのか、例会欠席の会員にもこの週報をご覧になれることによって、クラブの記録、情報を周知して参りたいと思っております。もう少しですので、皆様のご協力をお願い致します。

・**出席委員会**（布施孝尚委員長）

毎月の定例会の開催につきましては、会員皆様のご出席、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。当委員会として、出席の確認、その内容のチェックをして参りました。

今年度もコロナの影響があり、委員会の開催が例年より若干少な目だったこと等があり、メイクアップが例年より多くない状況であったと思っております。

そういった中であって、会員の皆様には極力お繰り合わせの上ご出席いただいております。

課題として、出席会員の人数が把握できない点があります。事前に欠席の連絡をいただくよう、ご協力をお願い致します。あともう少しですので、皆様のご出席のご協力をお願い申し上げます。

・**会員増強委員会**（熊谷敏明委員長）

今年度の初めの頃は、例会そのものが中止になった

りすることもあり、前半は会員増強委員会は、特に勧誘することもなく過ぎましたが、後半になり少し勧誘活動をし、結果として、佐藤秀雄会員、佐藤利尚会員のお二方を新入会員としてお迎えすることが出来ました。

委員会目標の一つでありました、二世代会員の入会について検討することにつきましては、5月の理事会報告に、2人目は年会費10万円で検討を進めるとありましたので、1つの方向性が示されたことになりました。

全体的な会員増強の流れとしましては、二世代会員というよりは、女性会員あるいは40歳未満の若い会員をどのようにして入れるかと言うことがテーマになってきている感じがしております。多様性が認められる社会になりつつある中で、今の例会のあり方、活動のあり方、新入会員を入れるためにこの辺から色々検討して変えるべきところは変えていくことも必要ではないかという議論がなされているのが最近の流れだと感じております。

今年度、掘り起してまだ入会に繋がっていない方が数名いますので、これは是非次年度で入会に漕ぎ着けて頂きたいと思っております。

・**職業分類委員会**（江川元徳委員長）

今年度のRIのテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」です。

当クラブの職業分類表は、もう少し細分化できます。性別、年齢は関係ありませんので、積極的に奉仕することの出来る方を増強していただきたいと思えます。職業に制限はありません。職業分類委員会で職業分類を決めます。

・**公共イメージ委員会・広報委員会**（菅野幸一郎委員長）

今年度、初めて公共イメージと広報の2つの委員会の委員長に任命されました。結果的には同じでしたので、次年度は一本化していただきたいと思えます。

今年度は、社会的に訴えるような活動はありませんでした。表立ったイベントがなく当委員会の出る幕がありませんでした。節目周年行事等があれば取材をし報道活動をいたします。節目に開催された野球大会には、その様子取材し河北新報に掲載したことは過去にあります。

小さな事でも良いのです。例えばクリーンキャンペーンなど良い活動をやっていれば、現在はコロナ禍でイベントが少ないので、掲載するスペースがあると思えます。情報を提供していただければロータリーのイメージが良くなると思えますし、公共イメージ的には、クラブの内外で良い活動をしているロータリアンの中から犯罪者は出ないということで、それが良い公共イメージを保つのに一番ではないかと思えます。

次年度も同じ委員会に配属されましたので、どんな小さくてもいいので、情報の提供をよろしくお願い致します。